

(別紙 1)

平成27年度 広島県立美術館 出張講座 開催要項

1 目的

本講座は、県立美術館の学芸課職員（統括マネージャー、学芸員）が、所蔵作品や開催する特別展などについて、公民館や生涯学習センター、学校などで、見どころをわかりやすくご紹介するプログラムです。

地域における鑑賞活動の支援、相互交流の促進を目指して実施します。

2 主催

広島県立美術館

3 実施期間

平成27年5月23日(月)～平成28年3月18日(金)

4 会場

県内の公民館、ホール、生涯学習センター、学校など

5 実施メニュー（詳細は別紙ご覧ください）

A コレクション・トーク

当館所蔵作品や美術館の仕事、地域文化などについて、学芸課職員（統括マネージャー・学芸員）がわかりやすくご紹介します。

B 特別展のためのとくべつ講座

平成27年度に開催する特別展に関連する講座内容で、担当学芸員が展覧会の魅力をご紹介します。

（開催計画等については当館ホームページ <http://www.hpam.jp/>を併せてご参照ください。）

6 所要時間

1時間程度（ご希望に応じます）

7 申込方法・申込期限

別紙申込書に必要事項をご記入の上、平成28年2月5日(金)までに、Faxまたは郵送にて、随時、お申込ください。先着順に受け付けます。開催枠（年間50回程度）に達した場合や日程調整不能の場合はお断りする場合があります。

8 その他

講演料無料（講師の派遣にかかる旅費は、当館が負担します）。

パソコン・プロジェクターをご用意ください。

9 申込先

広島県立美術館 学芸課 宮本

〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22

Tel. 082-221-6246 / Fax 082-223-1444

平成27年度 広島県立美術館 出張講座 実施メニュー

A コレクション・トーク

【日本の洋画】

1 風景画を楽しむ

講師：主任学芸員 角田新

小林和作や中西利雄など、当館の所蔵する作家には魅力的な風景画を描いた画家が数多くいます。しかし一口に風景画といっても、その捉え方や切り口、そこから見えてくる世界などは、とても幅広く、それぞれに魅力的です。そうした作品の楽しみ方や読み解いていく手がかりなどを当館の所蔵する近代洋画の代表作からご紹介します。

2 水彩画の魅力

講師：主任学芸員 角田新

南薫造や中西利雄など、当館の所蔵する作家には水彩画の普及に大きく貢献した作家が少なくありません。水彩画はその手軽さから、油絵などよりも1段低い表現とみられがちですが、実際には水彩画ならではの工夫や魅力にあふれています。油絵の力強さにも負けない水彩画を求めた中西利雄、水彩らしい柔らかな表現を追求した南薫造など、当館の所蔵する水彩の作品を通して、水彩に取り組んだ人々の魅力あふれる人物像にも触れながら、水彩画の魅力をご紹介します。

3 県美コレクションに見る、時代とファッション

講師：主任学芸員 藤崎 綾

絵画作品の中の人物は、当時の一般的な服装だけでなく、時に流行のファッションに身を包み、描かれた時代や画家の興味・関心について、私たちが思いを巡らすための一つの手がかりを与えてくれるとあってよいでしょう。華やかな着物やモボ・モガの時代の洋装、職務を示す制服など、人物のファッションに注目して、当館のコレクションをご紹介します。

4 自画像の魅力

講師：主任学芸員 藤崎 綾

鬯光や岸田劉生、佐伯祐三、萬鉄五郎など、日本には魅力的な自画像を描いた画家が数多くいます。肖像画のなかでもひととき魅力的な画家の自画像を、近代洋画の代表作を中心に紹介します。①一般対象 ②子ども対象 の2種があります。

5 絵画の探検 ～楽しみ方のヒント～

講師：主任学芸員 藤崎 綾

一つの作品をじっくりと見ることで初めてわかる絵の魅力。当館の所蔵品を中心に、鑑賞の楽しさが見つかるヒントになるかもしれない、いくつかのポイントをご紹介します。主に児童・生徒対象です。

6 鬯光(あいみつ)

講師：主任学芸員 宮本真希子

平成19年度に開催した「鬯光展」(北広島町出身の画家・鬯光(1907-1946)の回顧展)に際して教育普及用に作成したアートカードゲームとプレゼン付きレクチャー。主として小学生対象。ゲームを楽しみながら郷土の画家・鬯光について学びます。

【日本画】

7 めくって楽しむ『諸家書画帖』

講師：学芸員 隅川明宏

江戸時代半ば以降には、絵画や書跡を集めたアルバム・「書画帖」づくりが流行しました。当館所蔵『諸家書画帖』は、広島・福山ゆかりの人物などによる作品52面で構成したもので、大名道具のひとつかと思わせるほど重厚なづくりも特徴です。画面をめくって楽しむ「書画帖」の世界を(スライドで)ご案内します。

【彫塑】

8 野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から

講師：主任学芸員 石川哲子

物語性を帯びたユニークな造形で知られる尾道市出身の圓鐔勝三(えんつばかつそう・1905-2003)の彫刻や、イサム・ノグチ(1904-88)の平和大橋をはじめとする平和記念公園周辺のマニュメントをスライドで巡ります。

9 彫刻家・平櫛田中に学ぶ

講師：主任学芸員 石川哲子

「いまやらねばいつできる わしがやらねばたれがやる」と平櫛田中(1872-1979)が書に託したのは99歳の時のこと。田中は、長年にわたり彫刻界の第一線で活躍し、広島では、福山駅前の「釣り人」像の作者としても知られます。田中と当館との関わりにも触れながら、代表作や所蔵作品を中心にスライドでご紹介します。

【西洋美術】

10 ダリって誰？

講師：学芸員 山下寿水

20世紀を代表する奇想の画家、サルバドール・ダリ(1904-1989)。広島県立美術館所蔵の「ヴィーナスの夢」を中心に、「無意識」の世界を描き続けたダリの画業をご紹介します。

11 ダダとシュルレアリスムの時代～芸術の破壊

講師：学芸員 山下寿水

ダダって何？ シュルレアリスムって何？ 20世紀は、これまでの芸術の価値観が覆された時代でもありました。エルンスト、ダリ、マグリットなどの当館所蔵作家を切り口に、芸術家がいかに時代に翻弄されながら、模索を続けてきたか紹介します。

【工芸】

12 厳島神社の工芸品

講師：学芸統括マネージャー 向田裕始

広島県には世界遺産に登録されている厳島神社があります。神社には平安時代後期以来の数多くの工芸品が奉納されています。当館所蔵品のうち厳島に関連する作品を参照しつつ、これらの歴史的背景や意義についてご紹介します。

13 びじゅつかんのおしごと

講師：主任学芸員 福田浩子

美術館では様々な種類のスペシャリストたちが働いています。この講座では、美術館学芸員という仕事を紹介すると共に、美術館で働くその他の人々にアプローチします。児童生徒向けキャリア講座としてもご活用ください。※こども向けですが、一般でも大丈夫です。

14 タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天！

講師：主任学芸員 福田浩子

布は、染料と媒染剤の働きで様々な色に染まります。同じ染料でも媒染剤が違えば、異なった色を染めることができます。身近な染料の一例として、タマネギの茶色い皮を使った簡単な染色体験をして、染めについてのお話をします。媒染剤2種は講師持参。染料を購入(入手)して色数を増やすこともできます(要相談)。

ご準備いただくもの＝調理室(水道とコンロ必須)、珪瑯(鉄不可)のボウル、ザル、タマネギの皮たくさん、みょうばん、小さい布(ハンカチなど。天然繊維の木綿、ウール、絹。化繊は不可)

15 シルクロードの工芸と民族衣装

講師：主任学芸員 福田浩子

古来多くの民族が栄枯盛衰を繰り返した中央アジアには、多くの民族が独自の文化を持っています。本講座では、シルクロードで栄えた工芸について、ウズベク人、トルクメン人の民族衣装を中心にわかりやすくお話しします。

16 布をめぐるミクロとマクロのおはなし (糸紡ぎ実演付き) 講師：主任学芸員 福田浩子

誰もが身にまとっている衣服はさまざまな布で作られています。このコースでは、布とは何か、糸はどうやって布になるのかを超拡大映像などを使用して目で見て学びます。また、糸が出来る様子を、講師の実演によりご覧いただきます。

17 文化体験「シルクロードのパラオを作って食べよう！」講師：主任学芸員 福田浩子

中央アジアの広い地域で、客人を招くときに欠かせない料理である炊き込みご飯パラオ（オシとも言う）。国内ではめったに食べられないパラオをみんなで作って、味わってみませんか（カレーとは違います。辛くありません）。ご希望があればサイドメニューも作れるかも。好評につきまた今年も実施。

ご準備いただくもの＝調理室（水道とコンロ必須）、調理道具（蓋付きの鍋〈ごはんが炊ける〉、木ベラなど）、食材（米、ニンジン、タマネギ、トマト、肉〈羊または鶏〉、塩、サラダ油）、食器など

18 漆芸家・六角紫水 講師：主任学芸員 宮本真希子

平成20年度「六角紫水展」開催時に作成したプレゼン付きレクチャー。広島出身の近代漆芸のパイオニア・六角紫水（慶応3・1867年～昭和25・1950年）の生涯を当館所蔵品を含む主要作品でたどります。小学校高学年向け（漆の歴史をあわせて所要時間45分）も有ります。

19 日本漆芸史 講師：主任学芸員 宮本真希子

当館は広島県から近代漆芸の巨星・六角紫水（慶応3・1867年～昭和25・1950年）を輩出したことなどから、近代漆芸の優品を所蔵しています。日本の誇る伝統文化・漆芸の歴史を概観し、あわせて当館所蔵品を紹介します。

20 模様（文様）でつながるアジアの心 講師：主任学芸員 宮本真希子

工芸品に施された模様（文様）は生活を彩るとともに、しばしば人々の願いが表されています。そして時空を遠く離れていても、人間の願いには強く共感しあえるものがあり、模様（文様）にも類似性が認められます。当館所蔵のアジアと日本の工芸品を例にとり、模様（文様）に託された人々の願いを考えます。

【その他・総合】

21 名勝縮景園について学ぶ 講師：学芸統括マネージャー 向田裕始

県立美術館に隣接する名勝縮景園は、元和5年（1619）に紀州和歌山から広島に入国した浅野長晟が、翌年に上田宗箇に命じて作庭させた庭園です。この庭園は園の中央に濯纓池を配し、大小10有余の島々を浮かべ、周辺に溪谷や枯山水を築盛するとともに、茶室・四阿を建築している。築堤後、395年の歩みと特色について紹介します。

22 広島県の近代建築遺産 講師：学芸統括マネージャー 向田裕始

広島県は明治時代以後、急速な西洋化が進められるなかで西洋技術に基づく建造物が造られてきた。現在での灯台、電力施設、軍事施設、港湾施設、金融施設、博物館施設など数多くの遺産が残っています。これら遺産の特徴と背景について紹介します。

23 美術作品を通して郷土・瀬戸内について学ぶ 講師：主任学芸員 宮本真希子

瀬戸内海の魅力は、多島海など自然の美しさをはじめとして、人々が住み、手を加えることで磨かれ、海上交通の往来などによって歴史や文化が積み重ねられてきたところにあります。描かれた瀬戸内の風景や、瀬戸内から生み出された工芸品などを通して、私たちの郷土、瀬戸内について学びます。

B 特別展のためのとくべつ講座

- 1 広島・長崎 被爆70周年—戦争と平和展** **講師：学芸員 山下寿水**
展覧会会期：7月25日（土）－9月13日（日）
戦争を大規模化・総力戦化し、近代戦争へと変容させたナポレオン戦争を始まりとして、20世紀の2つの世界大戦を取り上げ、いかに芸術家は戦争に対して向き合い、いかに広島・長崎の悲劇は描かれてきたか、その歩みを紹介します。
- 2 江戸の劇画家 歌川国芳の世界展** **講師：学芸員 隅川明宏**
展覧会会期：9月11日（金）－10月18日（日）
幕末の江戸で活躍した浮世絵師・歌川国芳（1797-1861）。その留まるところを知らないユーモアセンスと時代に先んじる斬新な造形感覚は、同時代を生きた江戸っ子のみならず、現代人をも魅了しています。思わず笑ってしまう国芳展の見どころをご紹介します。
- 3 うるわしの京都 あこがれの美～京都市美術館名品展** **講師：主任学芸員 福田浩子**
展覧会会期：10月31日（土）－12月23日（水・祝）
京都市美術館が80年かけて収集した日本画作品の中から精選した名品を一堂に展示。展覧会の見どころと背景をスライドを用いて解説します。
- 4 北斎の富士—富嶽三十六景と富嶽百景** **講師：学芸員 山下寿水**
展覧会会期：1月2日（土）－2月14日（日）
葛飾北斎（1760-1849）の名を不動にした「富嶽三十六景」は、全作に富士をあしらった、名所絵（風景画）というジャンルを定着させる要因となりました。故事説話も取り入れた「富嶽百景」と併せて、北斎芸術の真骨頂をご紹介します。
- 5 第61回日本伝統工芸展**
展覧会会期：2月24日（水）－3月13日（日） **講師：主任学芸員 宮本真希子**
日本の伝統工芸品の素材及び技法に着目した2種の内容でお話します。
技法編（一般対象）所要時間 60～90分／素材編（小学校高学年対象）所要時間 30分

(別紙2)

平成27年度 広島県立美術館 出張講座 開催申込書

平成 年 月 日

団体名		
代表者名		
団体所在地および連絡先	住所 〒 電話番号	Fax番号
担当者名		
担当者連絡先	住所 〒 電話番号	Fax番号 E-mail
実施会場名		
会場所在地および連絡先	住所 〒 電話番号	
講座希望コース名		
開催希望日時	第1希望	月 日 ()
	第2希望	月 日 ()
	第3希望	月 日 ()
参加者数(予定)	人	
備考(連絡事項等)		